

12月16日 避難所運営マニュアル検証訓練 実施体制

想定事象に基づく訓練運営の組織	高柳
-----------------	----

各災害対策本部 (避難所運営担当)	役割	中央エーステート	西エーステート	リバーサイド	エアレジデンス
		開設前 避難所担当 他自治会と連絡、開設、派遣指示	○	○	○
避難所 担当	避難所運営の主役、各作業指示・管理	○	○	○	○
避難者兼自家発電器担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき自家発電器稼働	○	○		
避難者兼照明設置担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき照明器具稼働	○			
避難者兼トイレ設置担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき仮設トイレ設置			○	○
避難者兼貯水タンク担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき貯水タンク稼働		○		
避難者兼学校トイレ担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき禁止・仮設配置・使用注意事項			○	
避難者兼名簿管理担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき簿記人管理実施				○
避難者兼 器具配布担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき器具配布作業実施	○			
避難者兼 救急担当	避難者であるとともに避難所担当の指示にもとづき救急処置実施		○		
(避難者)					
要介護および支援避難者	軍橋子にて中学武道館へ避難	○			
障子団屋避難者	中学へ移動		○		
ペット同伴避難者	ペットがいる旨避難所担当に申し入れ			○	
飲料水 要請避難者	飲料水の手持ち態へ配布要請				○
負傷した避難者	負傷している旨避難所担当に申し入れ				○

避難所開設訓練・想定事象と内容

想定事象	主要活動項目	自治会避難所担当
20:00 震度6.5地震発生 電気・ガス・上下水道不通	各自治会 災对本部 立ち上げ	○自治会より避難所状況把握担当が避難所に行き状況報告 ○4自治会避難所状況情報共有の上、避難所運営 決定 ☒=避難所担当以外の事象 →避難所への移動準備開始
20:30 避難者 30名	避難所担当派遣 避難所開設 暫定運営委員会設立	・防災服着用+トランシーバー/懐中電灯装備の上避難所に移動 ・状況把握(学校施設管理者・市派遣職員と協議+インフラ・建物使用可能状況) ・避難所の状況は、トランシーバーで、逐次各自治会本部に連絡、相談する ・4自治会避難所担当により構成される暫定運営委員会設立・宣言
20:30 市派遣職員到着 (学校管理者不在)	待機避難者 グループビブ	・各自治会からの避難者への指示・統率実施 ・市又は学校関係者が来て、避難所建物施設が安全であることを確認するまで、避難者を小学校の校庭で待機させる(市又は学校関係者が来るまで、学校施設は使用させない) ・校庭に待機している避難者を自治会毎および一時避難者/他地区避難者 にグループ分けを指示 ・一時避難者/他地区避難者 を入船中の市職員・学校管理者に引き渡す。 ・当面の避難所ルール説明(土足厳禁・名札着用・ペット入館禁止・学校トイレ施設使用禁止)
建物安全確認 要介護者3名 到着 負傷者 3名 到着 ペット連れ避難者 到着 トイレ対応 飲料水対応	生活環境整備 活動展開	・状況(季節・時間帯・活動体制)に従い以下事項を優先順位にもとづき活動展開 夜間震災ケースを想定 ① 防災倉庫 解錠 ② 視覚確保(照明設置) 自家発電作動 (③ 冬季の場合、寒気対策+フランク等配布) ④ 建物安全確認 チェックリストに基づきチェック、市担当・学校管理者・市対策本部の判断仰ぐ ⑤ 要介護者対応 搬送+介護スペース確保 (福祉避難所受け入れ可能まで中学校武道場使用可) ⑥ 体育館に照明 設置 ⑦ 避難者数の基づき配置を考え 避難者を体育館へ誘導 (所別スペース区分配置) ⑧ 学校内トイレ使用禁止+仮設トイレ作成 緊急1台 ⑨ 貯水タンクより 飲料水共有可能にする。 ⑩ 学校トイレに仮設 配置+使用ルール徹底の上使用解禁 ⑪ 仮設トイレ 残り作成 ⑫ 避難者名簿 記入要請 ⑬ 器具 配布 ⑭ 避難者 教室移転計画 立案 ⑮ 夜間 緊急対応の為 待機
避難者名簿作成 器具配布		・避難者へ一旦帰宅を要請 ・避難継続者の受付 実施 ・避難者教室移転計画確定 ・避難者での自主運営体制 構築プロセス+必要体制説明 (参照 自主運営参考資料) ・中学側一時避難者状況確認・ 必要なら 避難所統合実施 ・各自治会 会長 へ連絡+自主運営体制立ち上げ支援要請 ・自主運営体制構築 支援 ・避難者 教室への移転 実施 支援
避難継続者+新規避難者 40名 自主運営体制立ち上げ	暫定体制終了・ 自主運営体制 立ち上げ	・自主運営委員会からの要請に基づき支援実施 ・入船地区生活再建委員会へ参加
	支援提供	

入船地区避難所運営協議会 平成39年4月7日 会合メモ

出席 中央・西・エアレジ・リバーサイド 自主院
於 リバーサイド自治会集会所

議題 & 結果

- 12月の訓練、2月の防災倉庫 備品確認+体育館照明検討の結果を踏まえ、
- 1) 避難所運営マニュアルの追加修正 検討、
避難所マニュアル修正のたたき台(添付)に沿って検討。
たたき台の 修正箇所 ページ 3, 7, 9, 16, 19 の赤字分。
マニュアル内 避難所生活ルール+避難所担当活動手順等、
- <結果> ..
○ 追加修正必要箇所 ページ 10(トイレ)、18(負傷者)追加。
トイレ 事前作業 (器具にシート敷き)を避難所担当活動手順に追
(資料も合わせ事前作業を正確に記述した資料を運営BOX内保存)
- 防災課に確認必要事項、
トイレ 撤収時の責任、
トイレ袋+使用禁止テープの体育館内保管、
- 職室要請 学内保健室の臨時負傷者対応に利用、
水タンクKEY-武蔵館 F/W の防災倉庫保管、
- 2) 30年度に4自治会合同で購える備品の具体化(商品名数)と、
各自治会担当分の決定、
(西原さんが 選択の高規格サンプル持参してくれます。)..
(備品候補
ランタン、トイレ袋、軍手、ビニール袋、COPY用紙、その他?..
- <結果>..
○ 必要備品の追加 ビニール袋(市販えるゴミ袋)、はさみ、
○ 各自治会一律商品及び購入数決定分 (西エーステートは別の4種類)..
ランタン (D2 オリジナル 4個、ECLAT 1個)..
○ 各自治会一律商品および購入数 未決分、
トイレ 製品 評価結果、数 について各自 次回報告、
軍手、ビニール袋、はさみ、コピー用紙、
- 3) 避難所 防災倉庫内に格納必要物の検討と整備担当の決定、

居住者 意識 UP

避難所訓練+防災訓練の参加を促す、

- ① 好奇心の力 ..
目新しい出し物 (起振車+はしご車 等)で工夫
- ② ただの力を利用 (食べ物、防災グッズ)。
- ③ 子供力 の活用 (子供の出演、スタンプラリー)。

課題点

- ① 10年後にもマニュアルを役立つように

人も変わる、環境も変わる

毎年活動手順の訓練の実施、新たな発見をマニュアルに、装備に反映

- ② 個々の自主防災組織そのもの体制維持

年度毎に替わる自治会役員と自主防災組織体制

継続性あるメンバーと年度担当自治会役員の組合わせ